

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（レントゲン検査やカルテに記載されている検査結果など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

特定大規模施設における特発性大腿骨頭壊死症（ONFH）の記述疫学に関する研究（「ONFH 定点モニタリングシステム」）

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 整形外科

【研究責任者】 間島直彦（愛媛大学大学院医学系研究科地域医療再生学 教授）

【研究代表者】 福島若葉（大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学 教授）
電話：06-6645-3756

【研究の目的】

厚生労働省研究班では、「特発性大腿骨頭壊死症の記述疫学に関する研究（定点モニタリングシステム）」を実施しております。病気の情報を収集することにより、得られた成果を、予防・診断・治療などに役立てたいと考えております。

【研究の方法】

対象となる方は、1997年1月1日～2029年3月31日の期間に、愛媛大学整形外科で特発性大腿骨頭壊死症と診断された方、他院で特発性大腿骨頭壊死症と診断後に当該機関を受診された方、特発性大腿骨頭壊死症により愛媛大学整形外科で手術を受けられた方です。

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、所定の調査票に記入して FAX することによって大阪市立大学大学院医学研究科・公衆衛生学に送られます。多くの情報

を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

社会的に重要性の高い研究のため、匿名化させずに（調査票に「カルテ番号」を併記する形で）情報を提供します。なお、「氏名、住所、電話番号」など、すぐに個人を特定できる情報は記載しません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 整形外科 間島直彦

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5343

愛媛大学医学部附属病院 地域医療再生学 間島直彦

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5930